

シリーズ 憲法と自衛隊 その2

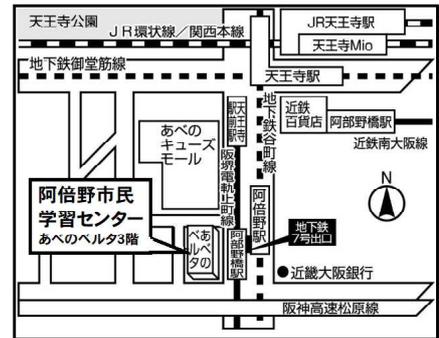
すでに軍事大国になった日本 海外派兵へはフリーハンド

日時 10月15日(日)

午後1時半から4時半

場所 阿倍野市民学習センター 第3会議室
(あべのベルタ3階) 資料代100円

JR天王寺駅 地下鉄阿倍野駅下車



安倍首相は臨時国会冒頭解散・総選挙を決めました。「丁寧に説明する」という自分の言葉をまたもや反故にして森友・加計・防衛日報隠し疑惑にフタをし、選挙で勝つことだけを狙った暴挙です。安倍首相は選挙公約の柱に「4項目改憲」を据え、選挙を改憲という野望のステップにしようとしています。姑息なやり方を許してはなりません。

安倍首相が実現したいのは、憲法9条を事実上抹殺することです。前回のカフェで学んだように現在の自衛隊は「専守防衛」などとは到底言えません。現に自分が攻撃されていなくても、米軍が戦争を始めたら一緒に朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)攻撃に参戦することが検討されています。

今回のカフェでは、2つのテーマで議論します。一つは、国連 PKO 活動です。南スーダンでは自衛隊は銃撃戦のただ中に巻き込まれました。戦争法で「駆けつけ警護」「宿营地共同防護」等の形で事実上の武力行使が解禁されましたが、南スーダンで武力行使していたら現地での内戦に参加するとことでした。さらに「国際平和共同対処」等という形で米と多国籍軍がイラクでやったような侵略戦争に後方支援部隊として参戦できること。すなわち海外派兵が自由に行えるようになっていくことです。

もう一つは、欧州では交渉で通常兵器の大規模な削減が行われました。対照的に日本はアジアの平和と安定のために何も行わず、逆に周辺国との政治的緊張を高め、ひたすら巨大な軍事費を維持し、自衛隊を増強し続けてきました。いまや安倍政権は北朝鮮や中国との戦争を想定して、さらに大規模な軍拡を加速しようとしています。

トランプ大統領が軍事行動の脅しを振り回し、いつ米軍が軍事行動をするかもしれない緊迫した状況です。今こそ自衛隊の現状をしっかりと見つめ、冒険主義に断固反対し、軍事大国を実現するための改憲を阻止することが必要です。ぜひご参加ください。

ライブ・イン・ピース☆9+25

TEL 090-5094-9483 <http://www.liveinpeace925.com> Email: liveinpeace_heiwa@yahoo.co.jp

安倍首相・自民党へ抗議ファックス・メールを!!

□疑惑追及逃れ、9条改憲地ならしのための衆院解散に反対します

□臨時国会で森友・加計・PKO日報隠し等疑惑の徹底究明を求めます

【抗議先】

□安倍首相官邸 FAX 03-3581-3883 メール https://www.kantei.go.jp/jp/forms/goiken_ssl.html

□自民党 FAX 03-5511-8855 メール <https://www.jimin.jp/voice/>

（抗議・要求案）

○疑惑追及逃れ、9条改憲地ならしのための衆院解散総選挙をやめてください

○森友・加計学園問題、稲田日報隠し問題等数々の安倍疑惑の徹底究明を臨時国会で行ってください

○安倍首相の「解散権」濫用、党利党略のための解散、身内優遇等権力私物化に反対します

○戦争を煽る対北朝鮮圧力・制裁の国連演説を撤回し、対話と交渉で緊張を打開すべきです

○9条改憲、北朝鮮制裁など「戦争する国」づくり最優先の首相・政府はいりません

安倍首相は 28 日に開会する臨時国会冒頭で衆議院を解散し総選挙することを表明しました。断じて許されません。所信表明も行わず、野党の代表質問も拒否して解散に踏み切るなど前代未聞です。党利党略のためだけに選挙をもてあそぶ「解散権」の濫用です。

首相は自らの数々の疑惑について「丁寧に説明する」といいながら、野党の臨時国会開催要求に一切答えず、3ヵ月も逃げ回ったあげくに、議論の場を封じ込めようというのです。

加計学園問題については閉会中審査が行われましたが、全く解明されていません。加計幹部が直接首相官邸を訪れて協議していた事実や、加計学園の獣医学科新設意向を知ったのが今年の 1 月 20 日であったという首相の発言など、新たに疑惑が次々に明らかになっています。森

友学園問題についても、8 億円以上の大幅値引きを籠池氏と近畿財務局が交渉する音声テープが公開されるなど疑惑は深まり、稲田元防衛相の P K O 日報隠し問題も全く解明されていません。

安倍首相が現時点で総選挙の争点として提示している憲法 9 条改定、消費税の目的変更、北朝鮮への対応とは、いかに美辞麗句で飾ろうと、国民生活を犠牲にして「戦争する国」づくりの総仕上げに向かう政策です。こんなものを選挙の争点にするなどもってのほかです。

私たちは、党利党略のための解散総選挙に反対します。

臨時国会を正々堂々と開会し、数々の安倍疑惑を徹底して究明するよう求めます。

(2017.9.25.)

安倍首相は、北朝鮮と戦争しても構わないと思っているのか!?

今大事なのは、圧力と制裁ではなく、対話と交渉だ!

トランプ大統領が北朝鮮に対して国を滅ぼすかのような野蛮な恫喝を加え、北朝鮮も「水爆実験」を示唆するなど緊張が高まっています。そんな中、安倍首相は国連で「北朝鮮に対しては圧力と制裁しかない」などと、戦争を煽るような演説をしました。

本当に戦争がおこれば、朝鮮半島だけでなく日本も甚大な被害が出るのは火を見るよりも明らかです。85 万人が犠牲になるとのシミュレーションもあります。威勢のいい言葉をもてあそぶのではなく、絶対に戦争を止めるために全力を尽くすべきです。

そのために今大事なのは、圧力と制裁ではなく、対話と交渉です。